

## 平成 30 年度講演会報告

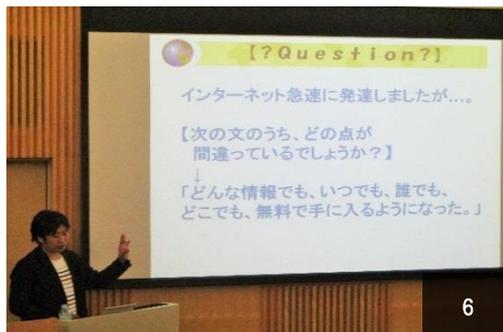
千葉市生涯学習センターにおいて、千葉市図書館情報ネットワーク協議会講演会「世界の図書館を巡る旅～知の冒険への招待～」を開催しました。講演会には、一般公募を含め、67 人の方々にご参加いただきました。

中央大学職員である梅澤 貴典氏<sup>うめざわ たかのり</sup>をお招きし、エジプト・デンマーク・ノルウェー・スウェーデンなど世界各国の図書館について、写真を交えてご紹介いただきました。また、正しい情報を得るための心得や図書館のあるべき姿についてもお話いただき、非常に有意義な講演会となりました。



千葉市生涯学習センター

日 時 平成 30 年 10 月 21 日(日) 10 時～12 時  
会 場 千葉市生涯学習センター 地下 1 階 小ホール  
テーマ 「世界の図書館を巡る旅 ～知の冒険への招待～」  
講 師 梅澤 貴典氏<sup>うめざわ たかのり</sup>(中央大学職員)



1/齊藤誠一会长  
2/講師の梅澤貴典氏  
3/講演会「世界の図書館を巡る旅～知の冒険への招待～」  
4,5/講演会の様子  
6/講演会の様子。クイズも交えながら楽しくお話いただきました  
7/講演会の様子。多くの方に参加いただき、満員御礼となりました



## 講演会報告

### 『世界の図書館を巡る旅 ～知の冒険への招待～』に参加して

千葉県立中央図書館

若本 朋子

10/21、当協議会としては初めての日曜開催となる講演会が、千葉市生涯学習センターで開催されました。講師の梅澤貴典氏の臨場感溢れるお話に引き込まれ、団体旅行の一員となった気分で「世界の図書館を巡る旅」のあつという間の2時間を満喫しました。

講師の梅澤氏は大学図書館職員にして、訪ねた国は50か国に上るといふ旅の人。海外派遣先のアメリカの図書館の質の高さに衝撃を受け、帰国後は大学院へも進学されています。講演では世界の図書館を巡る旅と合わせて、インターネット時代になぜ図書館が必要か、インターネット時代の情報リテラシーなどについてもわかりやすく語っていただきました。

#### 玉石混淆の情報の中からいかにして確度の高い情報を探すか

スタートはキリマンジャロ山頂の写真から、80もの図書館を擁するハーバード大の図書館や核シェルターを持つイスラエルのヘブライ大学図書館などを駆け足で巡りつつ、インターネット情報を扱うに当たっての注意点などについて、身近な話題を例にテンポよく解説していただきます。

例えば、台湾の九份が舞台だと巷で噂の「千と千尋の神隠し」。ジブリの公式ホームページを覗けば「江戸東京たても園」を大いに参考にしたとあるものの、台湾の文字はありません。さらに探すと宮崎駿監督が台湾は舞台ではないと明言している映像。インターネットの世界はまことしやかな嘘が溢れています。

次はハリーポッターの魔法学校の舞台探し。海外のことを調べるには、その国の言語で検索することによって、よりオリジナルの情報に近づきます。大勢の人で賑わう台湾市立図書館北投( Beitou)分館前の写真では、緑に溶け込む木造の素敵な図書館

だけに、こんなに人気の観光名所になっているんだと思いきや、写っている人の大半が実は「ポケモン GO」に興じる人々だったというオチ。情報を正しく理解することの大切さが身に沁みます。

#### 図書館は、過去からの叡智に見守られ、知を鼓舞される場所

と、ここまで1時間。ここからいよいよ「世界の図書館を巡る旅」本編です。まずはエジプト、新アレクサンドリア図書館。2006年、かつて古代アレクサンドリア図書館があったとされる地に開館。収容能力800万冊、外壁には世界の文字が刻まれています。アフリカの強い日差しを遮るため、窓はすべて北向きです。

続いて北欧。エジプトとは一転、どの図書館も陽の光を取り込むため窓が大きく開かれています。まずはデンマーク王立図書館。ブラック・ダイヤモンドと呼ばれる新館はクールでゴージャス。ノルウェーからはオスロ大学の図書館。ベルゲン公共図書館の建物には、図書館を守るガーゴイル(怪物などを象った彫刻)が配されており、中には眼鏡をかけた図書館員風のガーゴイルもありました。

次はスウェーデンのルンド大学図書館。歴史の重みを感じる伝統的な図書館のエリアがある一方、電子ジャーナル等を閲覧する近代的なエリアも無理なく自然に同居しています。

同じスウェーデンのウプサラ大学図書館。ゆったりとした空間に視線を遮る背の高いソファが配されており、吹き抜けの天井からは大きなタペストリー。成熟した文化の香りが漂います。

そしてストックホルム市立図書館。北欧近代建築の巨匠アスプルンドの設計で、中央の円形の吹き抜けを取り囲む3階分の本棚に圧倒されます。最後はフィンランド国立図書館。宮

殿と見紛う荘厳さです。

図書館はただ本が並んでいるだけのところではなく、過去からの叡智に見守られ、知を鼓舞される場所。目に見える数字だけがすべてではないとの言葉に大きく頷かされました。

そしてトリは北米の図書館。まずはアメリカ・イリノイ大学。メイン図書館と専門分野ごとの図書館、合わせて52の図書館が学生たちをバックアップしています。図書館では財源獲得も大きな仕事。寄附をする側にもメリットがあるようなしくみができています。大学の図書館で働くためには、政治学や歴史といった専門分野の修士号と図書館情報学の修士号が必須とのこと。高い専門性が求められます。

カナダのクイーンズ大学からは、図書館のメインフロアに位置するラーニング・コモンズ(LC)の紹介。図書館、ITサービス、学習戦略開発、障害者サービス、ライティングセンターの5つの機能を有するLCのリサーチヘルプカウンターでは、48時間以上の訓練を受けた大学院生のティーチング・アシスタント(TA)が相談にあたります。高度な質問はライブラリアンに引き継ぎますが、質問の7割はTAが処理するとか。TAのキャリアは履歴書にも書けるため、図書館・学生双方にメリットがあります。また、誰もがたづまきそうなところをサポートしてくれるパスファインダーも豊富で、予約制で研究相談に乗ってくれるサービスも用意されているそうです。

見どころ、聞きどころたっぷりの図書館を巡る旅に、会場の皆さんも大満足のご様子。パート2があればぜひ参加したいと思う本当に楽しい講演でした。

# 加盟館紹介展報告

千葉市図書館情報ネットワーク協議会について多くの方に知っていただき、加盟館を利用していただくことを目的に、平成 18 年度から「加盟館紹介展」を実施しています。

今年度開催期間中は、約 58,000 人の方々にご来館いただきました。加盟館紹介展の各パネルは、思わず足を止めてしまうような個性のあふれる展示となっていました。

今回も、パネルをご覧いただいた

方のリアクションが分かるよう、「この図書館が気になったら、シールをはってね☆」と各館のパネルにシールとシール台紙を設置しました。どのパネルにもたくさんのシールが貼られ、多くの方に興味を持ってご覧いただいたのではないかと感じました。

開催中は、来館された方々が、それぞれの加盟館のパネルをじっくりとご覧になる姿が度々見受けられました。また、ご用意させていただいた各

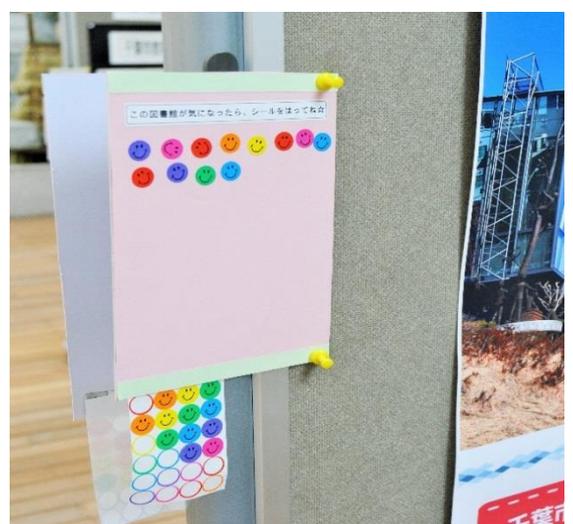
加盟館のパンフレットやイベント紹介のチラシなども多くの方々にお持ち帰りいただき、大変好評のうちに終了することができました。

[開催期間]

平成 30 年 10 月 13 日(土)～  
10 月 31 日(水)

[会場]

千葉市生涯学習センター  
アトリウムガーデン(1 階)





千葉市図書館情報ネットワーク協会は、千葉市内の館種を越えた図書館ネットワークを通じて、情報提供能力を強固にし、図書館サービスの向上を図ると共に、学術研究及び生涯学習の発展に寄与することを目的として、平成6年1月に設立。  
このNetwork通信は、加盟館の情報交流並びに協議会の活動状況を加盟館利用者等にお知らせすることを目的とし、平成10年10月から発行しています。

Network通信 No.56 2018年12月28日発行  
千葉市図書館情報ネットワーク協議会事務局：  
〒260-0045 千葉市中央区弁天3-7-7 千葉市中央図書館内  
TEL 043-287-3980 FAX 043-287-4074  
千葉市図書館情報ネットワーク協議会 HP:<http://www.ccal.jp/>

